

音楽科教育 理論研修会 終了報告

テーマ	子どもが主体的に表現できる授業のあり方	
日時	平成29年 11月 24日(金)	
会場	江別市立江別太小学校	
講師	高倉 弘光 氏 (筑波大学附属小学校 教諭)	
参加者	32名	
研修会 の 様子		<p>導入では体を動かす「リズムあそび」から。音楽室を目一杯使い、ピアノとタンバリンを使って親しみある曲が速度変化すると子どもたちは、楽しそうに歌いながら体を動かすことができました。タンバリンを使い強弱あるリズムでは、子どもたちは耳をすませながら、リズム変化に合わせて体を動かすことができました。講師の高倉先生も、気が付くと裸足で子どもたちと一緒に動きながらの指導。</p>
		<p>音楽科の授業での言語活動。自分の考えをもち、伝えることの大事さが授業に組み込まれていた。</p>
		<p>授業後の研修会では、今日の公開授業でのねらいや子どもの実態に応じた授業の組み立て方をわかりやすく説明していただいた。 新学習指導要領の改訂メンバーである高倉先生からわかりやすい解説と指導例について教えていただき、時間があっという間に過ぎた。</p>